

# 旭化成売上高最高7383億円

## ヘルスケア領域販売増

4～6月期

旭化成は31日、2025年4～6月期の連結決算を発表した。売上高は前年同期比0・3%増の7383億円、営業利益は7・6%増の536億円となり、いずれも第1四半期として過去最高となった。ヘルスケア領域で医薬、ライフサイエンス事業の主力製品の販売量が増加、住宅領域の国内住宅事業が堅調に推移するなどした。その一方、経常利益は7・0%減の499億円、純利益は42・2%減の197億円。マテリアル領域でのアクリル樹脂原料製造事業からの撤退に伴

う損失計上などで減益となった。

マテリアル領域の売上高は9・7%減の3166億円、営業利益は39・8%減の149億円。円高に加え、エッセンシャルケミカル事業の定期修理などのマ

イナスの影響を受けた。

住宅領域の売上高は9・

5%増の2589億円、営業利益は31・5%増の224億円。建築請負事業の平均単価上昇、不動産開発事業の分譲マンション販売戸数増などで増益となった。

ヘルスケア領域の売上高は6・4%増の1551億

円、営業利益は45・6%増の227億円。医薬、ライフサイエンス事業の伸長に加え、クリティカルケア事業で除細動器の販売価格が上昇するなどし利益を押し

上げた。  
25年9月中間期の売上高は前回予想から80億円減の1兆5040億円、営業利益は100億円増の1050億円、経常利益は40億円増の990億円、純利益は190億円増の610億円を見込む。26年3月期の業績予想は25年9月中間期決算発表時に見直しを行う予定。  
(諫山尚人)